

東武鉄道東上本線（大山駅付近） 連続立体交差事業等について



東 京 都
板 橋 区
東武鉄道株式会社

事業のあらまし

東武鉄道東上本線の連続立体交差事業は、大山駅を中心として約1.6kmの区間について鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するものです。

また、良好な住環境の保全や地域の利便性の向上を目的とした側道（鉄道附属街路）を併せて整備します。

これらの事業により、補助第26号線などの8か所の踏切が除却され、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られます。さらに、鉄道により分断されていた地域が一体化されるとともに、都市計画道路などの整備を併せて推進することにより、安全で快適なまちづくりが実現されます。

本事業につきまして、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



踏切の状況
(東上本線第17号踏切)

事業の概要

● 都市高速鉄道東武鉄道東上本線

- ① 区 間 大山駅付近（板橋区板橋二丁目～板橋区仲町）
- ② 延 長 事業区間 約 1.6 km
- ③ 構造形式 高架式（^{かさあげ}嵩上式）及び地表式
- ④ 駅 施 設 大山駅 ホーム延長：約 210m ホーム幅員：約 6～10m

● 都市高速鉄道東武鉄道東上本線付属街路（側道）

路線名	延 長	幅 員	路線名	延 長	幅 員
第 1 号線 (鉄東上付1)	約 40m	6m	第 4 号線 (鉄東上付4)	約 90m	6m
第 2 号線 (鉄東上付2)	約 60m	6m	第 5 号線 (鉄東上付5)	約 40m	6m
第 3 号線 (鉄東上付3)	約 110m	6m	第 6 号線 (鉄東上付6)	約 80m	4～17m

立体化により除却される踏切（8か所）

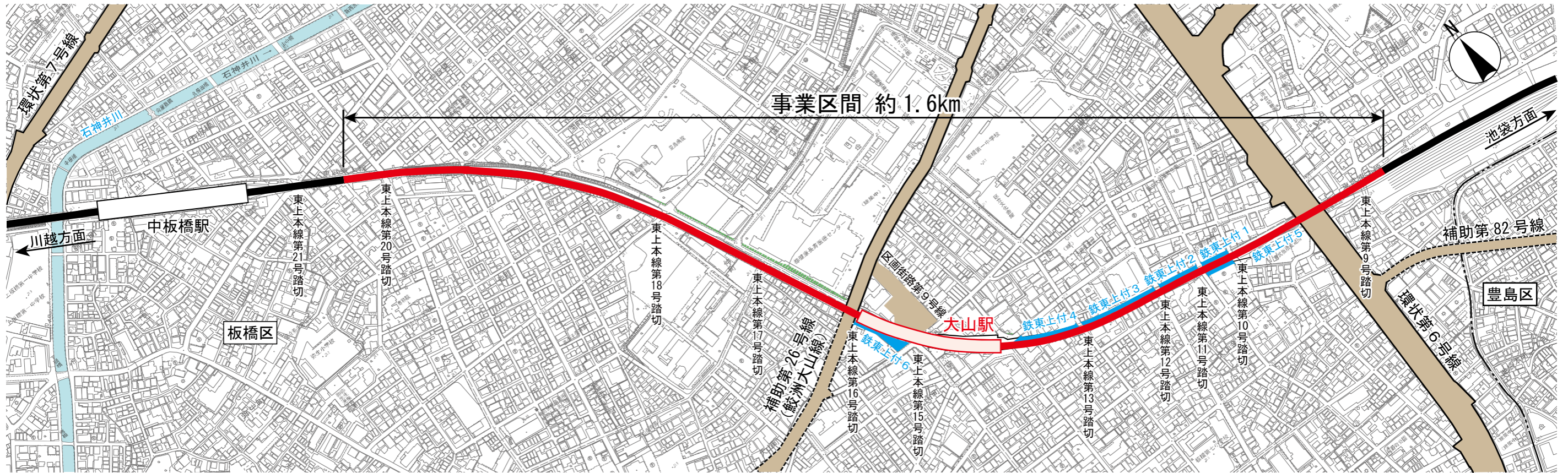
踏切道の名称	道 路 名 称	踏切道の現況幅員	備 考
東上本線第10号	板橋特別区道第45号線	5.0m	
東上本線第11号	板橋特別区道第10-2号線	5.7m	
東上本線第12号	板橋特別区道第2088号線	8.0m	
東上本線第13号	板橋特別区道第46-1号線	5.9m	
東上本線第15号	板橋特別区道第1901号線	9.2m	
東上本線第16号	鮫洲大山線（都道420号）	6.0m	補助第26号線
東上本線第17号	板橋特別区道第1907号線	4.8m	
東上本線第18号	板橋特別区道第1908-2号線	6.0m	

交差する都市計画道路（1か所）

都市計画道路名	計 画 幅 員	現 況 幅 員	備 考
補助第26号線	20m	6m	事業中

連続立体交差事業の概要図

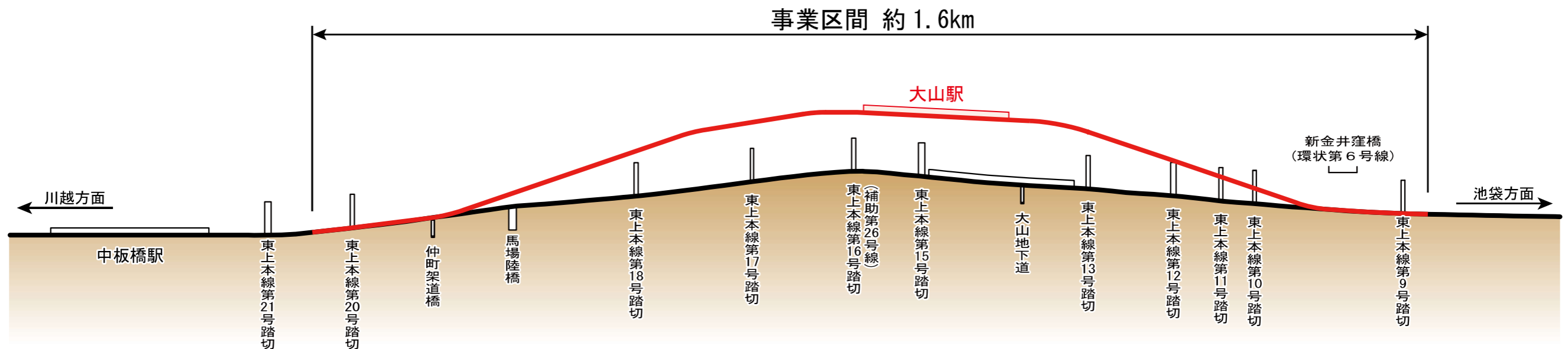
● 平面図



※この地図は、国土地理院長の承認（平 24 関公第 269 号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（29 都市基交第 562 号）して作成したものです。無断複製を禁じます。この図面は、平成 24 年に実施した航空測量をもとに作成しているため、現在の土地利用が反映されていない場合があります。（承認番号）31 都市基交都第 36 号、令和元年 12 月 10 日（承認番号）31 都市基街都第 221 号、令和元年 12 月 11 日

凡例	
	： 鉄道（現況）
	： 鉄道（事業区間）
	： 鉄道付属街路（計画）
	： 区境
	： 都市計画道路（完了）
	： 都市計画道路（事業中）
	： 都市計画道路（計画）
	： 工事で使用の可能性がある範囲

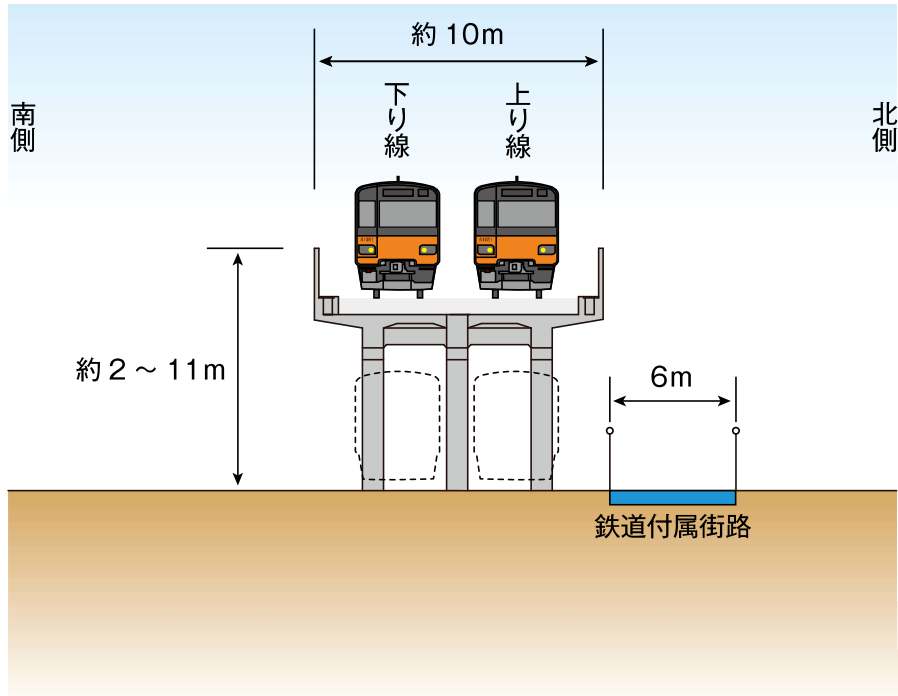
● 縦断図



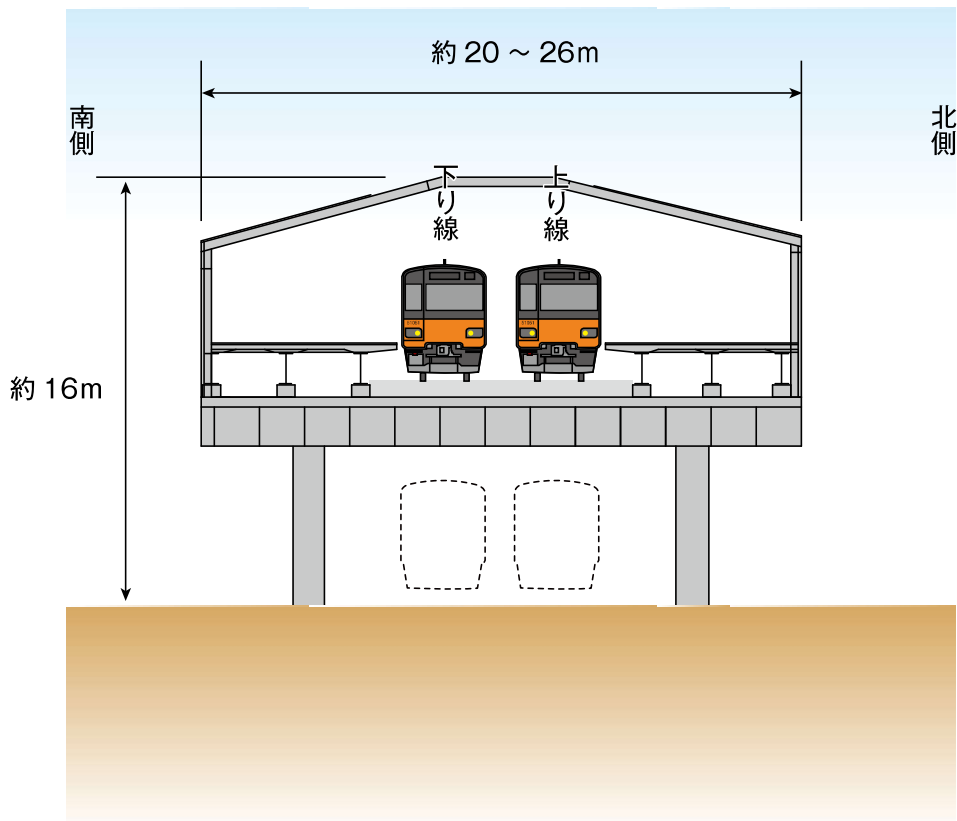
連続立体交差事業の概要図

標準横断面図 (池袋側から川越方面を見た図です。)


一般部



大山駅部



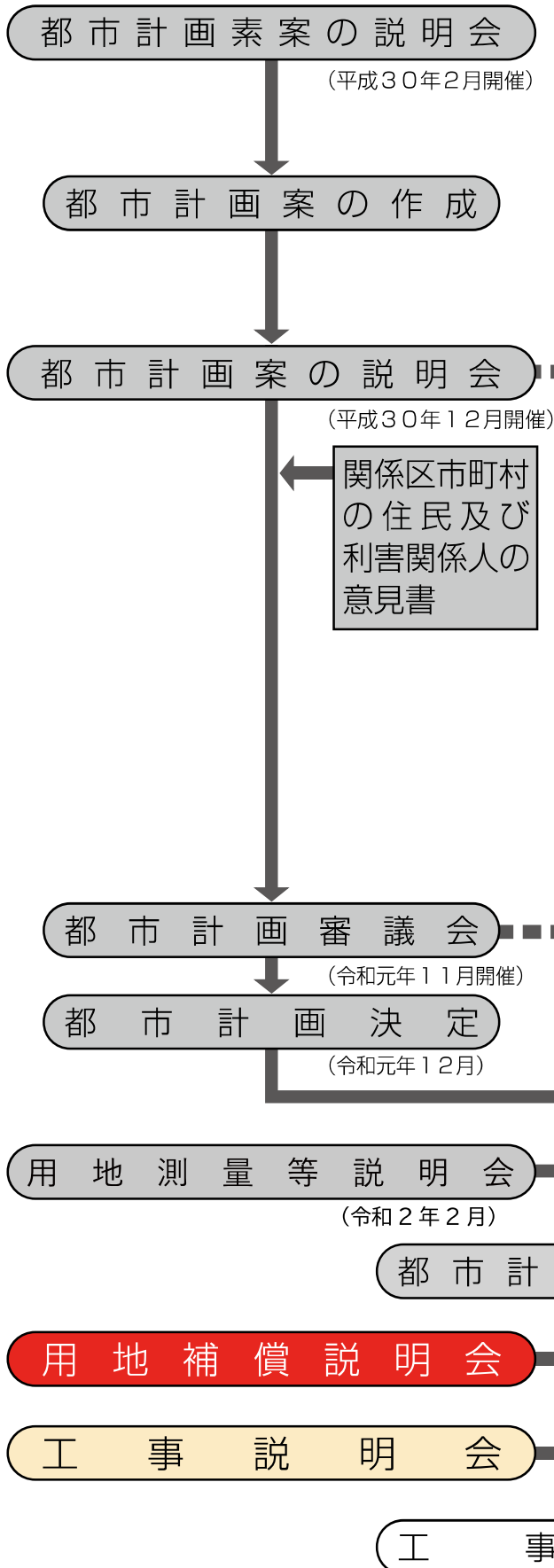
凡例

 : 現況

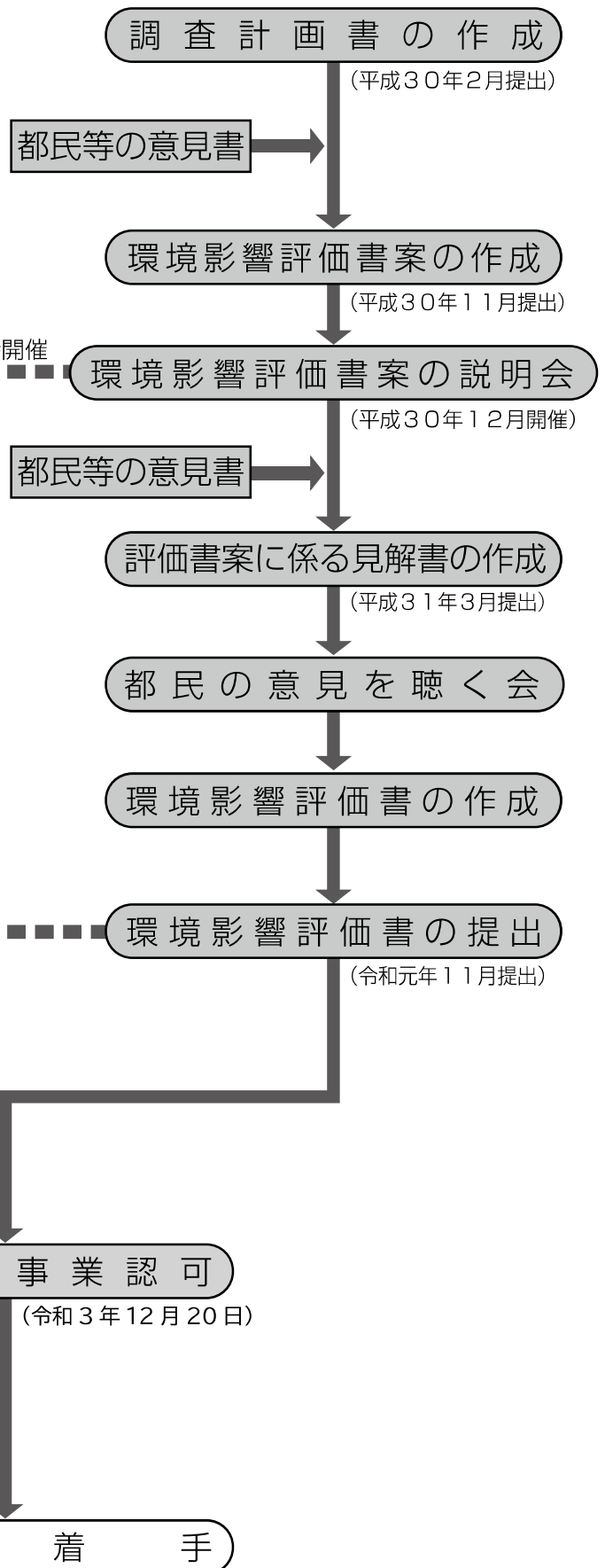
 : 計画

工事着手までの流れ

都市計画の流れ



環境影響評価の流れ



位置図



● お問合せ先

東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課

TEL 03 (5320) 5333

板橋区 まちづくり推進室 鉄道立体化推進課

TEL 03 (3579) 2587

東武鉄道株式会社 鉄道事業本部 改良工事部

TEL 03 (5962) 2484

本連続立体交差事業は「東京都が事業主体」となり、「道路の整備」の一環として施行する都市計画事業です。